

● 指導のポイント

学校教育目標

「学び 高め合い 認め合う大和中生」

～夢や目標を抱き、地域・社会に貢献する生徒の育成～

◎めざす生徒像

- ・夢や目標を抱き、学ぶ意欲を持ち続ける生徒
- ・心豊かで人に感謝し、感謝される行動のできる生徒
- ・自分を愛し仲間や地域を愛し、自分や郷土に誇りを持つ生徒

研究テーマ

生徒の実態に向き合い、未来をよりよく生きる力の育成

～考え議論する道徳科を要とした思いやりの心を育てる道徳教育を通して～

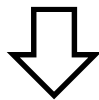
議論のしくみづくり、

TT指導

講師招聘の研究

議論の中で人の意見をよく聴き、

共感する心、協力し合う態度



TT指導

- ・複数の目で見取る
- ・揺さぶりで視点を広げる
- ・**カリキュラム・マネジメントの視点を取り入れる**

カリキュラム・マネジメント



- ・本校の実態
＝全学年にまたがって指導している教員が多い。
＝生徒と教師の信頼関係がつけられている。
- ・教科と関連した教材
＝教科の専門性を生かした教材研究、授業づくり（導入、展開、終末）
＝道徳科における学びを他の教科指導等にも生かす。
- ・推進リーダー教師によるコーディネート
＝複数教員による授業計画のための連携・調整
- ・PDCAサイクル
＝事前：推進リーダーによる教材・教具作り（発問、絵図、プレゼンなど）
＝授業：推進リーダーによる範読、板書、生徒の見取り及び様子の連携
＝事後：推進リーダーによるまとめの作成
（生徒の振り返り、成果と課題など）